

分担金・拠出金の名称	中東淡水化研究センター拠出金	評価	C
拠出先の国際機関名	中東淡水化研究センター(MEDRC)		
国際機関の概要	中東淡水化研究センター(MEDRC)は、1996年に発足。中東和平促進に資するための淡水化関連事業を広く行っている。機関の目的は、「淡水化に関連する基礎研究及び応用研究の進行、実施、調整等を行うこと。また、淡水化の技術的な工程を改善することにより、中東和平プロセス並びに中東及びその他地域の人々の生活水準の向上に貢献すること。」とされている(設立協定)。		
拠出により我が国が期待する成果目標及び活動指標		達成状況	
<p>1. (1) 成果目標: 中東和平の当事者たるパレスチナ、イスラエル、ヨルダンに裨益する事業の実施を通じ、三者の信頼醸成を促し、中東和平促進に資する。</p> <p>活動指標: 三者共同事業件数、パレスチナ、ヨルダン人の人材育成事業対象者数</p>		<p>中東地域の平和と安定は、我が国の平和と安定、経済の安定的成長の確保の観点から極めて重要な問題である。MEDRCは、中東和平多国間協議の下に設けられた機関として、発足以来、中東和平促進に資するための淡水化関連事業が広く行われてきた。特に、当事者三者共同事業が継続して行われ、信頼醸成及び地域への淡水化技術普及に貢献している(平成26年事業例: パレスチナ人27名、ヨルダン人7名への奨学金供与、三者が参加する研修、協議等3件実施等)。</p> <p>また、我が国のMEDRC貢献は、事務局所在国であるオマーン等から高く評価されており、日アラブ諸国関係の維持にも貢献している。</p>	
<p>(2) 成果目標: 我が国の中東和平政策、特に対パレスチナ支援の一環として、MEDRCとのパートナーシップが維持・強化される。また、MEDRCにおける我が国の発言力・影響力を確保する。</p> <p>活動指標: 執行理事会での発言確保</p>		<p>年に二度開催されるMEDRC執行理事会に出席し、MEDRCの運営、事業計画に関し我が国の意見を伝えることにより、我が国の対パレスチナ支援と整合性のとれる事業実施を確保している。</p>	
<p>(3) 成果目標: MEDRCが適切な組織・財政マネジメントを行う。</p> <p>活動指標: MEDRCが一昨年採用した機関運営に関する新戦略に則り、事業目標の達成度、組織運営及び財政状況につき、適切に執行理事会に報告する。また、外部監査機関による監査を実施し、報告する。</p>		<p>MEDRCは、予算を削減すると同時に実施事業の効率化を図る新戦略を2014年に採用。右に基づき、事業計画の実施状況を報告することとしている(2014年の結果報告は未接到)。会計監査は毎年6月に実施し、報告されている。</p> <p>また、2013年に就任したオクイン現事務局長は組織改編(ドナー開発、マーケティング分野の強化等)に積極的に取り組んでいる。</p>	
<p>(4) 成果目標: MEDRC事務局に我が国意見を適切に伝達する。</p> <p>活動指標: 邦人職員はいないものの、在外公館を通じ、我が国意見を適切に伝達する。</p>		<p>MEDRC事務局には、邦人職員はいないが、在外公館等を通じ、我が国意見等は適切に伝達してきている。</p>	
<p>2. PDCAサイクルの確保</p> <p>PDCAサイクルを確保している。</p>		<p>①計画段階(Plan): 我が国の中東政策(特に対パレスチナ支援)等に照らしつつ、予算要求。MEDRC側は、翌年度事業計画を策定し、執行理事会の承認を得る。</p> <p>②実施段階(Do): 予算拠出。MEDRC執行理事会を通じて、MEDRCの活動をモニタリング。</p> <p>③評価段階(Check): MEDRC執行理事会に対する事業報告、外部監査報告書により成果を評価。</p> <p>④フォローアップ(Act): MEDRC執行理事会を通じ、必要に応じて改善を提言。</p>	
担当課・室名	中東アフリカ局 中東第一課		